

社 協

か

か

み

が

は

ら



「やさしい心をたくさん学んだよ」

那加第一小学校の児童たちが車いす体験や点字、手話の勉強をしました。困っている人を見かけたらお手伝いできると良いですね。
(浅野 紀生さん撮影)

July 2014

No.157

表紙を飾る心温まる写真を募集しています

締切り 8月15日(金) 必着 詳しくは 8 ページをご覧ください

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり

各務原市社協の会員募集にご協力ください



サポート君

ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり

社会福祉協議会の会員募集にご協力ください

— 8月は社協会員募集月間です —



各務原市社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図る団体として、社会福祉法により位置づけられている公共性をもつ民間の社会福祉団体です。住民の皆さんが主体となり、だれもが安心して暮らすことのできる福祉のまちの実現のため、すべての市民の方に会費を通じて会員となっていただき、地域づくりのご協力をお願いしています。

ご協力いただいた会費は支部社協をはじめとする地域福祉活動へと還元され、社会福祉協議会が目指す「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」へとつながっていきます。

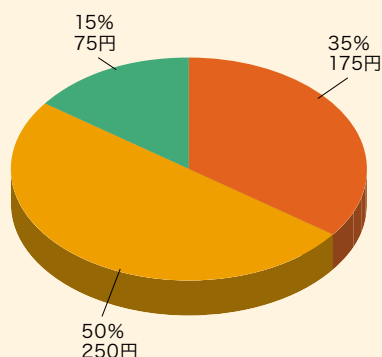
今年度よりわかりやすい会員募集とするために
1口500円制度へと移行いたします。

会費額は1口500円としていますが、当会の福祉活動にご理解いただき、より多くの口数会員となっ
ていただきますようお願い申し上げます。

世帯会員		1口500円
賛 助 会 員	法人会員	5,000円以上
	団体会員	5,000円以上
	個人会員	1口500円

世帯の皆さんには、自治会を通じて、法人・事業所の方には、民生委員児童委員さんを通じてご依頼させていただきます。

会費500円の使われ方



支部活動に使われています

■ 支部社協交付金 … 35%
支部社協独自の事業に

■ メニュー事業助成金 … 50%
メニュー事業を行った際の活動費
ランタリーハウス、福祉座談会、配食サービス事業、支部だよりなど

■ 市全体の事業 … 15%
ボランティア養成講座、市民福祉講座、社協かかみがはら など

平成26年度支部社協活動充実のため
交付金を会費実績額の35%から40%に変更いたします。



ボランティア養成講座の開催



各務連合支部 ボランティアハウスおがせ



那加三支部 盆踊りでの福祉の店出店

🏠 ボランティアハウス紹介 🏠

ボランティアハウスは、地域の高齢者や障がいのある方、子育て中の人などが閉じこもらないように集まり、楽しく交流することを目的にしています。歩いて行ける身近な公民館や集会所などに定期的に集うことで地域のささえあい、助けあいの輪が広がります。現在、市内には78か所のボランティアハウスが運営されています。

ボ ラ ン タ リ ー ハ ウ ス カ フ ェ 近 隣

カフェ近隣（代表：清水潔子さん 連絡先：058-384-3020 鶴沼第二連合支部）は、コミュニティ炉畑で毎月10日に開催されるボランティアハウスです。4月より新しく立ち上がりました。このハウスでは近隣ケアグループの皆さんがボランティアとしてハウスの運営を支えています。

参加者同士の交流を大切にするこのハウスでは、主な活動はおしゃべり会です。コーヒーの良い香りの中で、たくさんの笑顔が見られました。「全然知らなかった人と友達になれた。」「みんなでワイワイおしゃべりできることが幸せ。」など参加者の皆さんは毎月楽しみにされています。

代表の清水さんは「高齢者の方が家族と同居していても、若い方は働きに出ってしまうため日中はひとり暮らしとなり、寂しい思いをされている方が多いと聞いたので、誰もが集まれる場所を作りたいかった。参加することで新しい友達ができるため、一人で参加しづらい方は違う地域の友達とでもかまわないので来てほしいです。」と話してくださいました。

何か特別なことをするわけではないけれど、おしゃべりを通じて友達の輪が広がるハウス。そんなカフェ近隣には、笑顔が溢れるあたたかい雰囲気を感じます。お近くの方はぜひお立ち寄りください。



🧩 親子サロン紹介 🧩

親子サロンとは、幼稚園や保育所へ入る前の子育て世代の親子さんと、先輩ママなどの市民の皆さんが、おしゃべりの時間を共有できる拠点です。現在、市内には7か所の親子サロンが運営されています。

親 子 サ ロ ン 花 い ち も ん め

花いちもんめ（代表 野呂通子さん）は各務原町コミュニティセンターで毎月第2水曜に開催される親子サロンです。近くに住んでいる方だけでなく、さまざまな地域より親子さんが参加して交流を深めています。子どもたちは思いっきり遊び、お母さんたちは子どもたちの見守りをボランティアの方にサポートしていただきながらおしゃべりをします。

そんな花いちもんめの魅力の1つがおやつタイム。前日の夜にボランティアがお菓子を作り、この日は子どもたちは、にんじんゼリーとレモンケーキをおいしそうにほおばりました。代表の野呂さんは「子育てに悩んでいる時は、1人で考え込まないことが大切です。ここで交流を深めながら楽しんでいただけたらと思います。子どもたちの成長を見ると私たちもうれしくなります。」と話してくれました。

子どもたちもお母さんたちも楽しめる花いちもんめ。子育てに悩んでいる方や興味のある方はぜひご参加ください。



・初めて参加されたお母さん

「近所の友達に誘われて来ました。たくさんの方がいて、アットホームな雰囲気がとても良いです。ママ友ができてうれしいです。」

・いつも参加されるお母さん

「情報交換や悩み相談ができます。手作りお菓子がおいしくて、子どもだけでなく私も楽しみにしています。」

平成25年度 各務原市社会福祉協議会 事業・決算報告

地域福祉を推進する当会においては「ささえあって ささえられて みんなが主役のまちづくり」をテーマに、地域福祉事業やボランティア活動の推進、各種福祉サービスや福祉情報の提供を積極的に進めました。

なかでも新設した「夢を実現プロジェクト事業」助成により、空き家を活かした福祉活動の拠点が市内2か所で開設できました。その過程において住民の自発性や主体性が育まれ、地域の結束力が高まりました。

重点事業

① 住民が主役となり地域に根ざした支部社協活動の推進

地域の生活課題や孤立防止、つながりづくりなど独自の企画提案型の取り組みに対し、助成する「夢を実現プロジェクト事業」を新設しました。市内2支部社協にて常設型の活動拠点を設置することができ、身近な立ち寄れる交流場所として活動がスタートしました。

また、その他の支部社協においても福祉座談会で確認したそれぞれの地域課題の解決に向け、支部社協の独自の取り組みが行われるなど、積極的な支部活動が展開されました。



② 近隣ケアグループを中心にした声かけと見守り活動の充実

近隣ケアグループ活動を広く住民に周知し、活動の理解と協力を求めました。また、それぞれの活動を確認し、ふり返る研修会を支部社協で開催するなど、地域で孤立しがちな方を多くの目で見守る取り組みを行いました。

- ・近隣ケアグループ登録数 … 297 グループ 活動員数 … 2,147 人
- ・研修会の開催 … 14 支部 16 回

活動実績

- ・見守り、声かけ … 53,771 回
- ・簡易な援助活動 … 4,951 回
- ・支部行事に参加 … 6,867 回
- ・その他 … 4,752 回



③ 身近な総合相談体制の構築と成年後見制度の啓発

成年後見制度を多くの市民に知っていただくために、寸劇や講演会を内容とする市民福祉講座を開催しました。また、成年後見制度のほかに、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業等の事業説明も含めたパンフレットを作成し、あらゆる生活問題や悩みに応じる『総合相談窓口』の開設PRを行いました。

○『総合相談窓口』の開設

- ・相談件数 … 463 件

○日常生活自立支援事業

- ・継続契約件数 … 35 件
- ・25 年度新規契約件数 … 13 件

○生活福祉資金貸付

- ・平成 25 年度新規貸付件数 … 91 件
- ・貸付に関する相談 … 延べ 779 件

○高額療養費貸付

- ・貸付件数 … 279 件
- ・貸付者数 61 人



④ 社協活動を知ってもらうための情報発信

多くの方に社協を知っていただくために活動を DVD にまとめ、機会があるたび上映しました。また、広報「社協かみがはら」やウェブサイト、ブログの他に新たにフェイスブックでも情報発信に努めました。ボランティアセンター事業としては、精神障がいスポットを当て、当事者や家族、ボランティアとして関わる方から話を聞き、正しく障がいを理解する講座を開催しました。



各務原市社会福祉協議会のフェイスブック

各務原市社協FB

検索

⑤ 地域資源も活用した質の高い介護保険サービスの提供

介護保険事業においては、在宅生活を支えるために個々の状態に応じた適切なサービスを提供することができ、高い実績を得ることができました。また、地域包括支援センター事業においては、高齢者の心身の状況や生活状況を把握し、介護保険サービスにとどまらず適切な地域の保健・医療・福祉サービス機関や制度の利用につなげていく支援を行いました。



その他の事業

○会員募集実績

一般・特別会員			賛助・団体会員		合 計
会員数	加入率	会費額	法人数 団体数	会費額	
37,174 世帯	81.3%	18,768,500 円	800 法人 団体	3,347,500 円	22,116,000 円

○ボランティアハウス 市内 77 か所（新規 4 か所）

○ファミリーサポートセンター事業

- ・登録 … 292 名（利用会員 220 名、サポート会員 59 名、利用会員兼サポート会員 13 名）
- ・コーディネート実績 … 400 件

○ボランティア登録

団体登録 … 72 団体 2,062 名

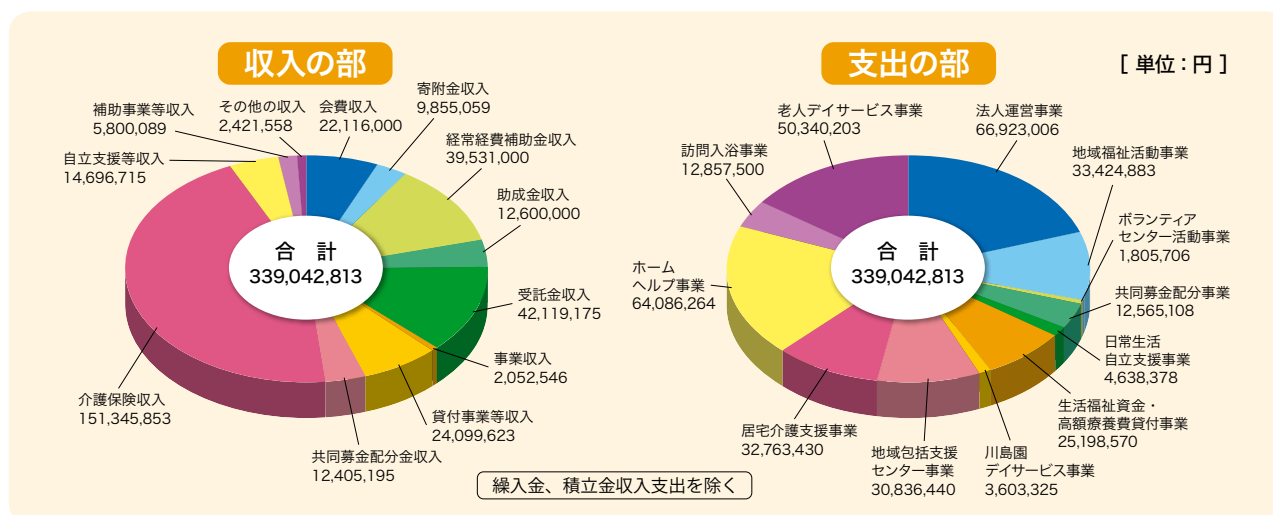
個人登録 … 71 名

ボランティア情報配信登録 … 49 名

※詳しくは WEB サイトをご覧ください

<http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>
社協のすがた → 事業計画・予算（事業報告・決算）

平成 25 年度 決算報告



輝きインタビュー ～将来を担う福祉のたまご～

岐阜各務野高等学校（鵜沼各務原町）の福祉科では「人はこころ 福祉は人なり」をモットーに、福祉のこころと幅広い福祉サービス技能をもつ人材を育成しています。現在福祉科在学中で介護福祉士を目指す西田智乃さん（3年生）にインタビューしました。



◎福祉科を目指したきっかけは？

幼い頃から祖父や祖母が大好きでした。その中で大きなきっかけとなったのが、祖母の認知症でした。当時、祖母とうまく向き合えず、その間に認知症が進んでしまいました。その時に、福祉を勉強して介護ができるようになりたいと強く思い、福祉科を志望しました。また、施設職員さんが仕事をしている姿に憧れたこともきっかけの1つです。

◎福祉を学んで感じたことは？

例えば、「施設に入所する」ということに関しても、もっと単純なことだと考えていました。でも実際には、さまざまな制度や法律や職種が複雑に関係していることに驚きました。

また、現場実習に行かせていただいた時に「ありがとう」という声にすごくやりがいを感じました。実践的な学びができて、貴重な体験をさせていただきました。

◎ボランティアをした経験は？

小学生や中学生の頃は、児童館で知り合った友人と老人福祉施設を訪問して、一輪車の披露をしたりレクリエーションを考えて入所者の方々と交流をしたりしました。最近では、自宅近くの施設で、夏祭りのスタッ



フを経験しました。自分にもできるボランティアがないか、学校で募集案内を確認しています。

◎将来の夢は？

初めて見た施設職員さんが認知症をととても理解していて、利用者さんや家族に優しく接していました。介護職は、利用者さんに関わる人が多いと思いますが、その家族との関わりも大事だと思います。その職員さんのように利用者さんにも家族にも優しく対応できる介護福祉士になりたいです。将来的にはケアマネジャーを目指して、制度の面からもサポートできるようになりたいです。

お誕生日おめでとう ございます



各務原市社会福祉協議会の介護保険事業を利用いただいている方に「いつまでも元気でいてください」との願いを込めて誕生日の花束をプレゼントしています。

ご利用者様からは「最近歩くことを頑張っている。やっぱり続けることが1番大事。こうやってお祝いしてくれると嬉しくて、もっと頑張る励みになります。」と少し照れながらも笑顔でお話していただきました。



募集！福祉活動に取り組む 企業を支援します

福祉の理解や関心をより高めていただくために、ボランティア活動をはじめとする福祉活動を継続的に実施する市内の企業に対して、活動費を助成（上限5万円）をいたします。助成には申請が必要となりますので、まずは、社会福祉協議会にお問い合わせください。地域に「福祉の心」を広げていきましょう。



多くの申請をお待ちしております。

みっばらクック♪

5月25日(日)、障がいのある人とボランティアが楽しく料理を通して交流する、料理サロン(みっばらクック)が開催されました。

毎月1回、中央公民館で行い、作る料理と参加者はそのつど代わるため、さまざまな方との交流ができます。

今回は、総勢27名で4つのグループに分かれ『ハンバーグ』を作りました。

初対面の方でも一緒に作業をすることで、お互いに声をかけあい、とても和気あいあいとした雰囲気ですすめられました。また、同じレシピで作っても各グループの個性が光るものになり、どのグループもとても美味しそうに出来上がっていました。

料理をとおしてたくさんの笑顔があふれる楽しい企画です。参加ご希望の方は、社会福祉協議会までご連絡ください。



車いすダンスで仲間づくり

各務原市フォークダンス協会は、7月に小学生と市内の高齢者施設を訪れ、車いすの人と一緒にダンスを楽しむイベントを初めて計画しています。

この企画に向けての練習では、メンバーが実際に車いすを体験しながら、どんなダンスなら安全に楽しめるかを確認しました。「あまり早く動くと気分が悪くなるので、もう少しゆっくり押した方がいいと思う。」「お手本で踊れる人が車いすの人の間に入ると、一緒に踊っている気持ちになった。」「車いすではこの動きは難しい。でもこの動きならできるね。」など体験しないとわからない気持ちが聞かれました。

メンバーは「普段車いすに触る機会がないから勉強になりました。車いすの人とのダンスは初めてだけど、高齢者にも子どもたちにも楽しんでもらえればと思います。」と話してみえました。

ダンスをとおして世代を越えた人の輪が広がるといいですね。



わかるとスッキリ! あたまの体操してみませんか?

文字を並び替えて1つの言葉にしてください。

問題① ス ツ ミ ヤ ナ

問題② ウ チ カ ヒ シ ュ ヤ

問題③ ヨ イ イ カ ス ク

ヒント 夏にまつわるものです

Summer

はがきに問題①～③の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してご応募ください。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差しあげます。

宛先: 〒504-0912 各務原市那加桜町2-163
各務原市社会福祉協議会まで
締切: 平成26年8月15日(金) 必着

5月号では107名ものご応募をいただきありがとうございました。抽選で10名様に粗品をプレゼントさせていただきました。

5月号の答え: ①ゴールデンウィーク ②五月人形 ③カーネーション



福祉フェスティバル 2014 に出かけよう！ テーマ『ささえ て ささえられて みんなが主役のまちづくり』 ～ きっかけ 見つかる 福祉フェスティバル ～

福祉団体の活動展示や模擬店など多数出展します。おいしく、楽しく、福祉を学ぼう！お誘い合わせの上、お出かけください。

日 時：9月7日（日）9:00～15:00（雨天決行）

会 場：各務原市民会館・
各務原市中央ライフデザインセンター



支部社協企画ベストフォトコンテストや FC 岐阜キックターゲットもあります

発達障がいのある子どもたちと一緒に、 夏休みの思い出作りのお手伝いをしませんか？ 「夏休みふれあいキャンプ」

ボランティアさん募集

発達障がいの子どもたち（主に小中学生）と野外炊事やレクリエーションを一緒に楽しみながら障がいについて知ってもらいます。

日 時：8月5日（火）9:00～8月6日（水）15:00 頃まで

会 場：各務原市少年自然の家

その他：参加費無料

募集人員：10名（高校生以上で宿泊できる方優先。
日帰り参加も可能です。）

締切り：7月27日（日）

申込み：各務原市手をつなぐ育成会

連絡先 大谷 TEL058-384-8313
三島 TEL058-322-9550



あなたの写真で 広がる幸せ★

say, cheese♪



表紙を飾る心温まる写真募集！

表紙の写真投稿はこちらまで↓

E-Mail shakyo@chive.ocn.ne.jp

氏名、年齢、住所、連絡先を明記の上
写真にコメントを添えて投稿ください。
※メールの件名欄には『表紙応募』と
ご記入ください

締切り：8月15日（金）必着

表紙は那加一支部 浅野 紀生さんが撮
られた写真を掲載させていただきました。
皆さまの多数のご応募をお待ち
しております。

「本当によく似てるよね」「そっくり」と私は
小さい頃よく言われていた。よく似ている相手
は母親だ。
思春期になるとそれが嫌で嫌で仕方なかった。
「何が似ているの」「どこが！」と反抗期になる
と増々嫌で一緒に外出するのが減少、何か機嫌
が悪かった。ところが私自身が結婚、出産する
と長い反抗期が終わり母親とも打ち解けていく
のがよくわかった。その時期からは何かにつけ、
よく話をした。とても楽しかった。ある日、私
が娘に何気なく言った言葉にびっくりした。全
く同じ言葉を似たような場面で、私自身も母親
に言われたことを思い出した。似ていると幼い
頃から言われ、容姿だけかと思っていたが、心
の中の思いまで母に似ていたのだと気付かされ
た。そんな母が亡くなって2年が経つ。

野添悦子

ひ
と
り
ご
と



車いすと共に ご活用ください

「車いすを借りても車いすスペースに車
を駐車しづらい。車いすマークがあれば
いいのに。」との声を聞き、マグネット式
の車いすマークを作成しました。ご希望
の方は車いす貸出時にお声かけください。

善意のご寄付をいただき 誠にありがとうございました

敬称略 順不同 平成26年4月1日～平成26年5月31日

【金銭、物品】

前田五十子	¥11,850
戸大建設工業株式会社	¥50,000
キルトカフェ すずらん	¥6,085
匿名	¥8,040
匿名	¥30,000
成瀬昶夫	高齢者体力測定用具
JAぎふ女性部各務原ブロック	タオル560本



この広報紙には、皆さんの会費と
赤い羽根共同募金が使われています。

各務原市社協ウェブサイト

各務原市社協

検索

No.157 社協 かかみがはら 発行/各務原市社会福祉協議会 発行日/7月15日号
〒504-0912 各務原市那加桜町2-163 総合福祉会館2階
TEL.058-383-7610 FAX.058-382-3233 E-mail shakyo@chive.ocn.ne.jp